



高瀬 一徳 議員
Kazunori Takase



YouTube

高齢者・障がい者単身世帯、
高齢者世帯、生活保護世帯、支援が
必要とされる世帯の見守りについて

▶ 地域共生社会の実現に最も重要な課題の一つである

- Q 世帯数は。
- A 一人暮らし高齢者は2,479世帯、高齢者のみの方は2,015世帯、生活保護230世帯、障害者手帳所持者は2,074人である。

▶ 電気・ガス・水道の異常使用を知らせる端末機器を導入しては。

- A 現在、緊急通報装置の利用者は100名を超えている。可能であれば、見守りシステムを付加出来ないか検討したい。

▶ 防犯カメラの設置に補助金の創設をしては。

- A 現在、市内には学校・保育園・公共施設・駅・幹線道路などに221台を設置している。自治会や行政区、商店会などを対象にした設置補助について研究を進めたい。



防犯カメラ

▶ さくら市の文化財について

- Q 指定される文化財の数は。
- A 国指定1件、県指定47件、市指定167件の指定文化財がある。

- Q 管理、保存、活用については。
- A 個人所蔵者、管理団体とさくら市ミュージアムが連携し、補助をしながら修復や修理などを行っている。特に必要な場合は寄託や寄贈を受け入れ、収蔵・管理を行いながら企画展の展示資料や研究資料として活用している。

▶ 上阿久津白木彫刻屋台の保存について地元から要望書が提出されたが、さくら市の対応は。

- A 白木彫刻屋台は価値が極めて高く、収納庫設置は保存管理上でも望ましい。今後、上阿久津行政区文化財保存委員会と連携して実現に向けて検討を進めたい。



彫刻屋台



笹沼 昭司 議員
Shoji Sasanuma



YouTube

▶ 市内への就職、
定住促進のための
奨学金返還支援について

▶ 制度の制定に向け積極的に進める

- Q 企業から日本学生支援機構に直接代理返還が可能となったが、市内企業での活用状況は。
- A さくら市内の企業の利用は確認できていない。積極的な周知を行う。
- Q さくら市独自の返還支援は。
- A 他市の状況を見据え、制度の制定に向け積極的に進める。



▶ ふるさと納税について

- Q 国の通知により、経費の総額を寄附金額の5割以下、返礼品は調達費用が寄附金額の3割以下で当該自治体の区域内において、①生産されたもの、②原材料の主要な部分が生産されたもの、③製造・加工の主要な工程を行ったものに限られるなどとされている。その影響と新たな取り組みについては。
- A 掲載を取り止めたものもあるが、深刻な影響はない。ポータルサイトの追加や返礼品掲載ページでの自治体PRに努める。

その他の質問

- ◆ ICT化とスマートフォン依存症について
- ◆ タクシードライバーの不足について

- Q さらに寄付金額を伸ばしていく方策は。
- A お米のブランド化や全国的に流通する商品を生産する企業と返礼品提供の交渉をしていく。



▶ デジタル田園都市
国家構想交付金事業と
ウェルビーイング指標について

- Q デジタル田園都市国家構想の実現に向け、ウェルビーイング指標が示されているが、どう捉えているか。
- A ウェルビーイング指標は、市民の暮らしやすさと幸福感を可視化するもので、国においても確立に向けた検討が始まったばかりであり、利用改善の流れを注視しながら事業指標として取り入れられるか見極めを行っていききたい。

- Q パッケージ事業などで政策に活かす考えは。
- A 積極的な検討を行っていく。



角田 憲治 議員
Kenji Kakuta

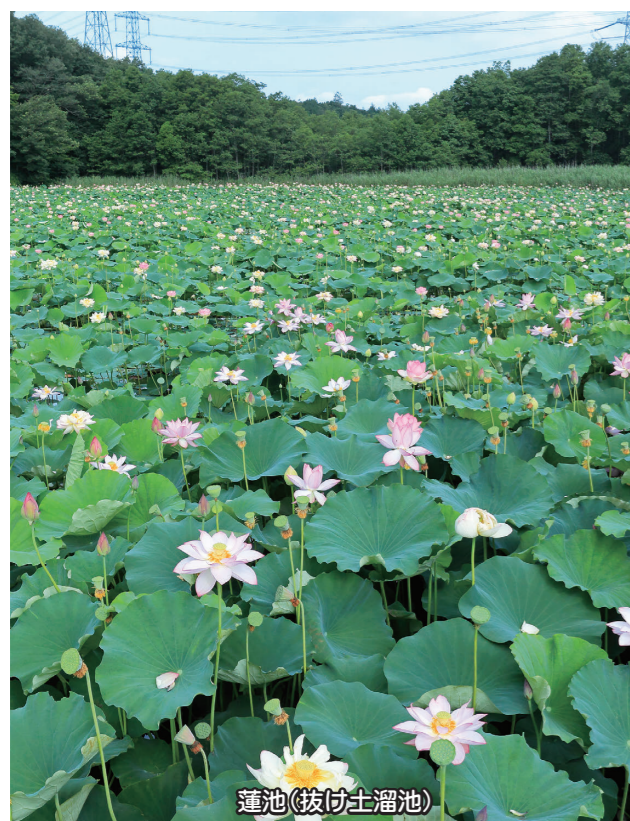


YouTube

11 国土・地域づくり 市有地“蓮池”（抜け土溜池）の有効活用について

▶ 前向きに検討を進めていく

- Q 下河戸北行政区域内にある市有地“蓮池”を活用し、観光地として利用してはどうか。
- A 進化プランにおいて、交流人口倍増を掲げ、現在観光入込客数について平成28年の71万人から、3倍達成を目指して取り組を進めている。今後合併20周年の記念事業と考え合わせて、現地調査を関係各課で行い、方向性について前向きに検討を進めていく。



蓮池(抜け土溜池)

11 国土・地域づくり 道普請制度の見直しについて

- Q 道普請制度の導入により、道路及び河川の整備が進んでいる。市長は今、行政区重視を掲げているが、道普請制度の拡充と見直しを図ることが重要であるがどうか。
- A 道普請は、3世帯以上が生活道路として利用する私道または認定外道路を整備する際、限度額70万円(原材料費は50万円、機械借上料は20万円)の材料費等を支給する制度であり、農道や農業用水路を整備する、農道等普請制度も確立されている。改善等を含めた地域が求める道普請制度の見直しを行い、拡充、実施を図るべく、よりよい制度に向け取り組んでいく。



道普請制度(実施前)



道普請制度(実施後)



岡村 浩雅 議員
Hiromasa Okamura



YouTube

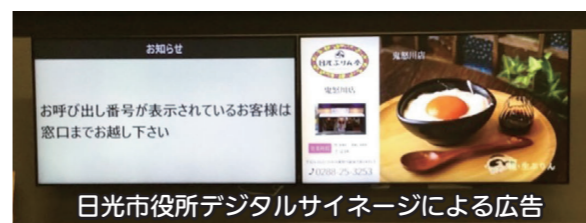
8 働きがいも 暮らしにも 障がい者の雇用について

▶ 自立した生活が送れるよう支援していく

- Q 市役所での障害者法定雇用率達成状況は。
- A 令和5年11月現在2.62%であり、法定雇用率を達成している。
- Q 障害者優先調達推進法における本市の取り組み現状は。
- A 令和2年度157万9,000円、令和3年度315万6,000円、令和4年度165万2,000円であった。今後も積極的に取り組んでいく。
- Q 就労継続支援A型、B型事業所の誘致など、今後の取り組みについて。
- A 就労や利用状況を確認しながら事業所の誘致など働く場所の確保に努めていきたい。

11 国土・地域づくり 自主財源確保についての取り組み

- Q 今後施設への*ネーミングライツや、市民課窓口配置している*デジタルサイネージへの広告を導入したらどうか。
- A 広報効果のある施設について検討を行うなど、必要な調査を進めていく。市民課窓口のモニターは、既にシステムの無償提供を受けるための広告掲載を行っている。



日光市役所デジタルサイネージによる広告

- Q 公共施設に設置する飲食物の自動販売機を一般競争入札で実施している自治体があるが、本市でも取り入れてはどうか。
- A 今後、先行して総合公園、ゆうゆうパークなど、都市公園に設置されている自動販売機について導入に向け検討する。

3 持続可能な 社会の実現 子どもの屋内遊び場の設置について

- Q 特に南小学校区の方からは、設置を望む声が多いが、本市としてどのように取り組むのか。
- A 今後、複合的機能を有する公共施設の新設を考えていく際には、継続的に検討していく。南小地区においては、放課後児童クラブの拡充等に併せ、施設の有効活用やそれらの機能の連携、協力体制の構築を含めて再検討をし、子どもの居場所として充実した室内空間が確保できるよう努めていく。



南小学童保育センター

***ネーミングライツ**
施設の名称に企業名や商品名を付与する権利(いわゆる命名権)のことで、ネーミングライツを取得した企業から対価を得て、施設の運営維持と利用者のサービス向上を図るもの。

***デジタルサイネージ**
施設などにディスプレイやプロジェクターなどを設置して、情報を発信するシステム。



加藤 誠一 議員
Seiichi Kato

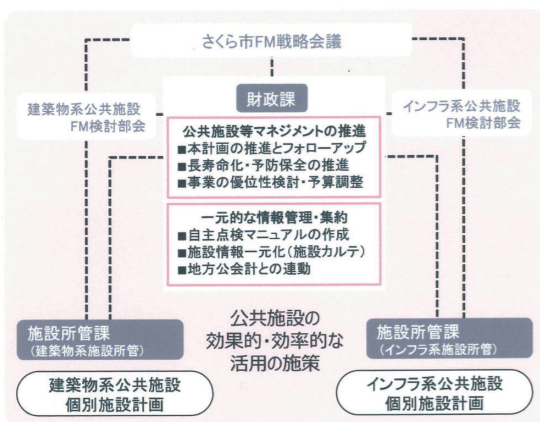


YouTube

11 公共施設等総合管理計画について

▶ 公共施設管理の在り方は最重要課題と捉えている

- Q 総施設の延べ床面積で10%削減目標の根拠は。
- A 将来における財政規模と人口推計を考慮し、施設総量の延べ床面積から決定した。
- Q 公共施設を維持更新していくには将来平均8億円の財源が不足するとの試算であるが。
- A 施設を現状維持していくには毎年8億円の財源不足が生じてしまうため床面積10%削減を含め、施設の集約化・複合化、施設民営化など多角的な視点で取り組む必要があると考えている。



公共施設等マネジメント推進体制

※公共施設等総合管理計画

長期的視点をもって公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより財政負担を軽減・平準化するとともに最適な配置とする計画

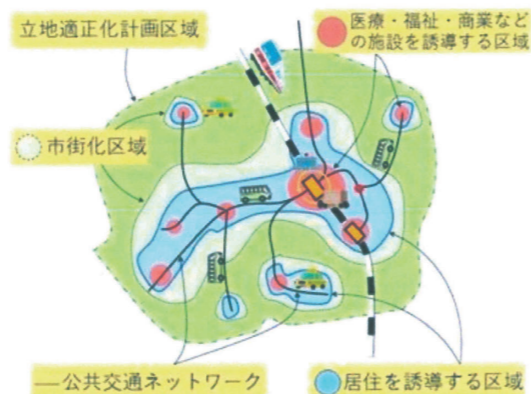
11 さくら市立地適正化計画について

Q 立地適正化計画の意義、目的の認識は。

A 概ね20年後を展望して策定する計画で、人口減少・少子高齢化を見据え、都市機能集約型(コンパクトシティ・プラス・ネットワーク)への転換を図り、将来にわたり住み続けられるまちづくりを目指していきたい。

Q 計画策定に向け、今後の取り組みは。

A 今年度は誘導区域、誘導施設の検討、目標値の設定等素案をまとめ、令和6年度に市民説明会、パブリックコメント等を通じて、市民の皆様の意見を反映して計画書をまとめ、その後国県等と協議を進めていく。



立地適正化計画のイメージ図

※立地適正化計画

少子高齢化、人口減少の社会背景において持続可能なまちづくり施策として、集約型の都市構造、都市機能や居住が集約したコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり計画



加藤 朋子 議員
Tomoko Kato



YouTube

11 次世代型公共交通構想は

▶ 可能な限り改善を図り、様々な手法を検討していく

- Q 循環バス導入計画その後は。
- A 法改正により実現困難となり、民間バス事業者への委託も含め、新たな対応方針を検討している。



- Q ラストワンマイル・モビリティ(ドア ツードア交通)の充実は。
- A 乗り合いタクシーの需要は高いので、充実と進化を図り、利用を呼びかけていく。
- Q ライドシェア導入の可能性は。
- A 実装には法規等多くの課題があるので、前向きな思考を持って情報の収集に努めていく。

Q 次世代型(*MaaS、自動運転)環境配慮型(EV、FCV)公共交通導入の検討は。

A MaaSに関しては、乗合タクシーにAI予約システムを導入するシミュレーションに取りかかっている。また環境配慮型車両に関しても、当市に研究所のあるホンダが開発したFCV対応SUV車等を積極的に公用車として導入していきたい。

Q スクールバスを空き時間に、循環バスとして多目的利用できないか。

A 登下校の合間に利用できる時間が1時間程度しかないのが難しい。

10 市の施設等使用料について

- Q 使用料徴収及び減免、減額の区別と根拠は。
- A 施設で提供する行政サービスの内容、受益者、公益性等を勘案して、各施設の設置条例で定めている。
- Q 体育施設を利用する子どもたちへの減免は。
- A スポーツ振興課の内規で運用している。
- Q 市内施設の使用料を一元的に審査、見直ししては。
- A 他市町の例を参考に検討していく。



さくら市ミュージアム市民ギャラリー

※MaaS

複数の移動手段を最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うサービス



◎ 予算審査特別委員会について

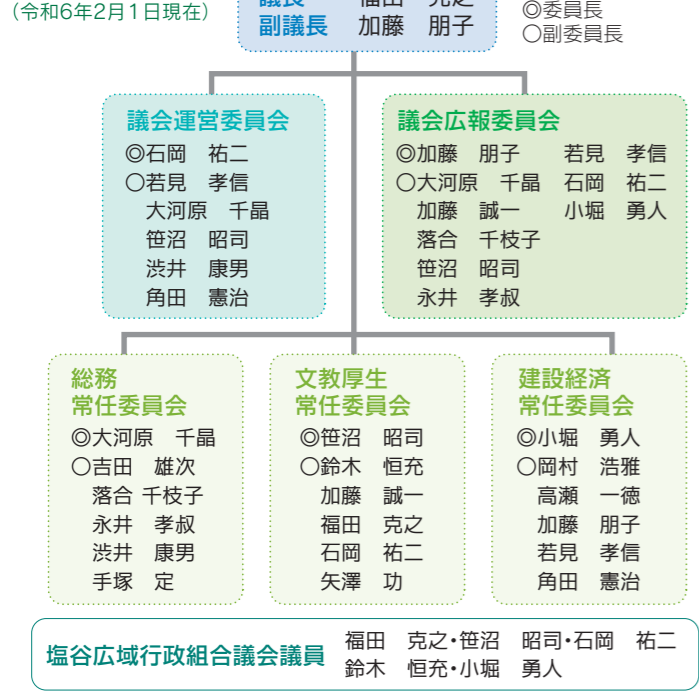
令和5年12月12日に第一回議会活性化特別委員会が開催され、今まで総務、文教厚生、建設経済の3常任委員会に所管毎に振り分けて、付託して審議していた補正予算案を、すべて議員全員で行う事が決まりました。

◎ なぜそうなったの？

18名の議員全員が参加する場で審査、議論すれば、より多角的で深い議論が出来るからです。3月の当初予算案、9月の決算案はこれまでも全員で審議していましたが、それを6月、12月の補正予算等にも適用することにしました。



議会の構成



◎ 今後常任委員会では何をするの？

調査研究機関としての性格を強めて、所管事項を現地調査したり、視察を行ったりすることを中心に活動していくことになりました。今後は県内の先進事例等も積極的に視察に行く予定です。



◎ 議会レポート

- 塩谷市町村議会議長会 行政視察研修**
10月16日～17日
・福田 克之 議長
- 全市議会議長会 研究フォーラムin北九州**
10月25日～26日
・福田 克之 議長
- 塩谷広域行政組合議会臨時会**
11月22日
・福田 克之 議長
・笹沼 昭司 議員
・石岡 祐二 議員
・鈴木 恒充 議員
・小堀 勇人 議員
- 視察等来訪**
10月5日
大分県豊後大野市議会産業建設常任委員会の委員ほか7名が「耕作放棄地を利用した地域自給燃料の実用化」について視察に訪れました。
11月7日
愛知県一宮市議会福祉健康委員会の委員ほか13名が「まちなか保健室さくら」について視察に訪れました。
12月11日
山形県最上町議会産業厚生常任委員会の委員ほか7名が「持続可能な農業」について視察に訪れました。
12月21日
岩手県栗石町議会教育民生常任委員会の委員ほか10名が「再生可能エネルギーの利用促進とバイオマス産業都市構想について」について視察に訪れました。
- 各種委員会等出席**
 - さくら市消防委員会
10月13日
・笹沼 昭司 議員
・石岡 祐二 議員
・渋井 康男 議員
 - さくら市公共下水道審議会
11月17日
・矢澤 功 議員
- 監査**
 - 定期監査
11月14日・21日・22日・28日
・渋井 康男 議員
 - 例月現金出納検査
12月25日
・渋井 康男 議員
 - 財政援助団体等監査
12月25日
・渋井 康男 議員
- 開東市議会議長会 理事会**
10月30日
・福田 克之 議長
- 全市議会議長会 理事会・評議員会合同会議**
11月9日
・福田 克之 議長
- 県北五市議長会議**
11月22日
・福田 克之 議長
・加藤 朋子 副議長
- 塩谷市町村議会議長会議**
12月22日
・福田 克之 議長
- 塩谷広域行政組合議会議員会・全員協議会・定例会**
10月6日
・福田 克之 議長
・笹沼 昭司 議員
・石岡 祐二 議員
・鈴木 恒充 議員
・小堀 勇人 議員

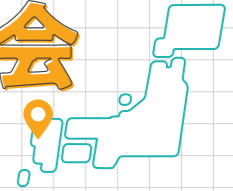
◎ 議会の動き

- 10月**
 - 3日 議員全員協議会 議会運営委員会 第3回定例会閉会
 - 5日 大分県豊後大野市議会産業建設常任委員会視察来訪
 - 6日 塩谷広域行政組合議会議員会・全員協議会・定例会
 - 7日 古河関東ド・マンナカ祭り
 - 13日 さくら市消防委員会
 - 14日 さくら市福祉まつり 知事と語ろう！とちぎ元気フォーラムinさくら 春の院展 栃木展 開幕式
 - 16日 塩谷市町村議会議長会 行政視察研修(～17日)
 - 17日 議会広報委員会
 - 18日 栃木県市議会議長会議議長会議 栃木県市議会議長会議議員及び事務局職員研修会
 - 19日 今宮神社例大祭
 - 21日 文部科学大臣杯 全日本ゲートボール選手権大会
 - 23日 中学生アメリカ力派遣事業結団式
 - 24日 議員全員協議会
 - 25日 全市議会議長会 研究フォーラムin北九州(～26日)
 - 27日 議会広報委員会
 - 29日 さくら市民体育祭秋季大会
 - 30日 開東市議会議長会 理事会 建設経済常任委員会視察研修(～1日) 文教厚生常任委員会視察研修(～2日)
- 11月**
 - 7日 さくら市戦没者追悼式 愛知県一宮市議会福祉健康委員会視察来訪 議会広報委員会
 - 8日 総務常任委員会視察研修(～10日)
 - 9日 全市議会議長会 理事会・評議員会合同会議
 - 13日 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部との包括連携協定締結式
 - 14日 定期監査 議会報告会検討委員会
- 11月**
 - 15日 議員全員協議会 議会運営委員会
 - 17日 さくら市公共下水道審議会
 - 18日 JAまつり 塩谷町新庁舎 開庁記念式典
 - 21日 定期監査
 - 22日 塩谷広域行政組合議会臨時会 県北五市議長会議 定期監査
 - 26日 子育て講演会
 - 28日 定期監査
 - 29日 議員全員協議会 議会運営委員会 第4回定例会開会 議会広報委員会
 - 30日 第4回定例会一般質問
- 12月**
 - 1日 第4回定例会一般質問
 - 3日 塩谷地区駅伝大会さくら選手団出発式
 - 4日 予算審査特別委員会
 - 6日 文教厚生常任委員会
 - 7日 建設経済常任委員会
 - 8日 総務常任委員会
 - 9日 さくら市人権ミニフェスタ
 - 11日 山形県最上町議会産業厚生常任委員会視察来訪
 - 12日 議会活性化特別委員会
 - 14日 議員全員協議会 議会運営委員会 第4回定例会閉会
 - 16日 こども絵画展 表彰式
 - 21日 岩手県栗石町議会教育民生常任委員会視察来訪
 - 22日 法令外負担金審議特別委員会 塩谷市町村議会議長会議
 - 25日 例月現金出納検査 財政援助団体等に対する監査

先進地に学ぶ

文教厚生常任委員会

日時 令和5年10月31日(火)～11月2日(木)



詳細はこちら

エコアくまもと(熊本県南関町)「エコアくまもとについて」

熊本県公共関係産業廃棄物管理型最終処分場「エコアくまもと」では、県の環境活動推進団体であるとともに、「環境を守り、地球にやさしい未来を創る」というビジョンを掲げて、様々な環境活動を展開しています。

また、高台に位置し、耐震性や耐風性を備えた施設であることから、非常時用の毛布や食糧を備蓄する防災拠点としての役割も担っています。



感想 地域住民に寄り添い、意見を尊重して運営する取り組みと、環境に対する意識の高さを感じました。



熊本県山鹿市「窓口の民間委託について」

平成27年10月から、民間活力を活かし、更なる市民サービスの向上と市の行政組織が抱える人員不足や業務負担の軽減を図るために、市民サービスセンターを運営する会社に市民課窓口業務を委託しています。

市民課窓口アンケートでは約98.6%の方が「満足」「やや満足」と回答しており、民間委託導入の目的である更なる市民サービスの向上は達成できていると考えられます。



感想 市民課窓口の民間委託に対する積極的な取り組みと、市民サービス向上への意識の高さを感じました。



福岡県久留米市「書かない窓口について」

とんこつラーメン発祥の地でもあります久留米市では、平成27年度マイナンバー制度導入を契機に異動受付等窓口支援システムが導入され、入力された情報をもとに、必要な手続きや担当窓口を案内できる機能を有しています。

申請書への記入負担を軽減する「書かない窓口」、入力時間の短縮や正確性を図り、「待たない窓口の実現」を図っております。



感想 「市民ひとりひとりの貴重な時間を無駄にさせない」との掛け声の元、市民ファーストを重視したDXの積極的な取り組みを感じました。

先進地に学ぶ

総務常任委員会

日時 令和5年11月8日(水)～10日(金)



詳細はこちら

香川県直島町「直島アートサイトにおける移住定住促進の取り組みについて」

ベネッセコーポレーションが直島アートサイトを開発し、人口約3,000人の小さな島は年間75万人を超える多くの観光客が訪れる町へと成長しました。単に直島というフィールドに現代アートを展開するだけでなく、「在るものを活かして、無いものをつくる」という合言葉のもと、島全体がよくなること、島民(住民)と、島の自然環境を第一に考え、その上で芸術との融合を志ざした姿となっています。



感想 もともとそこにあった島、島民のなかに超一流の現代アートと建築をおくことで、直島は魅力にあふれた唯一無二の特別な場所となっていました。

香川県観音寺市

「ANA あきんどとの業務連携について」

令和4年5月ANAあきんど株式会社と業務連携協定を結び、「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 観音寺市」を実施。また、ふるさと納税で、特にリピーター獲得に有効な「定期便」に力を入れ、寄付者お一人おひとりに市長の直筆メッセージを添える心遣いも忘れません。



感想 露出を増やし、市としての魅力を印象づけること、知ってもらうことに力を注ぎ、関係交流人口の増加、ひいては移住にもつなげているのだと感じました。

愛媛県西予市

「オフィス改革について」

西予市では多様化する市民サービスに対応すべく、生産性向上のための環境整備として平成26年度よりオフィス改革を開始しました。そして職員の働きやすさの追求が結果的に市民に還元できたそうです。ハード面だけでなく、「意識改革」というソフト面にも改革のメスを入れたことが成功のカギであると思います。



感想 「意識改革」には終わりが無いので、今後も継続して行ってほしいとのことでした。今後の動向にも注目し、参考にしたいと思います。

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

小中学校体育館へのエアコン設置について

令和4年 第3回定例会
令和5年 第3回定例会

どうなったんべあの質問は

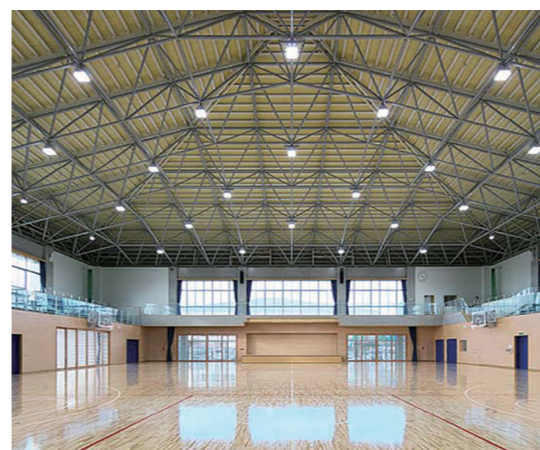


現状は…

昨今の異常な気象は学校教育に大きな影響を与えています。さくら市においても、暑さによる児童・生徒の体調不良や熱中症のリスクが高まり、体育の授業や部活動が制限されるといった事態が実際に起こっています。それをふまえ、さくら市では熱中症リスクを最小限に抑え、子どもたちが安心して運動や学習に集中できる環境を提供するため、小中学校体育館へ空調設備を設置することとしました。指定避難所でもあり、部活動も行っている中学校から順次整備を進めております。

今後は…

令和6年度に市内2中学校の空調設備の設置を完了します。なお、学校の建物や設備の状況に応じて導入手法が異なるため、氏家中学校は令和6年7月、喜連川中学校は令和7年3月までの設置を目指し、整備を進めます。また、市内6小学校の整備に関しては、現在整備計画を作成中です。子どもたちが安心して運動や学習に集中できる環境を早急に提供できるよう、スピード感をもって取り組んでいきます。



先進地に学ぶ

建設経済常任委員会

日時 令和5年10月30日(月)～11月1日(水)



宮城県名取市 「閉上かわまちづくり事業及び震災からの復興について」

国によるハード事業で堤防側帯、管理用通路、船着き場、多目的広場、階段護岸、親水広場が整備されました。市としては、(株)かわまちてらす閉上の立上げ支援、民間舟運事業者の公募運行開始に係る支援、まち側の側帯の散策路造成工事、各種案内看板設置、各種イベント実施に係る支援等が実施されています。



感想 氏家ゆうゆうパークや荒川水辺公園などの災害対策において参考になる事業でした。

福島県福島市 「道の駅ふくしまについて」

2022年4月27日にオープンしたばかりの全国でも最新の道の駅です。東北中央自動車道大笹生インターチェンジに隣接しアクセスが非常によいです。また、福島県産の木をふんだんに使った子どもの遊び場「ももRabiキッズパーク」、EVバイクのレンタルサービス、地元産フルーツが購入できる直売所を備えています。この道の駅は、道の駅うつのみやろまんちっく村でも有名な(株)ファーマーズフォレストが指定管理者として受託しています。



感想 道の駅の運営や周辺観光との連携、子どもの遊び場と道の駅本体と連動させる内容など、本市の道の駅きつれがわにはない取り組みで、大変に参考となりました。

福島県南相馬市 「震災からの復興 小高交流センター、福島ロボットテストフィールドについて」

小高交流センターには国の復興財源が充てられています。室内運動場や子どものための遊戯室、会議室等も備え、クリスマスに向けたイルミネーションも準備されており、地域の皆様が楽しく集える場所を提供しています。



感想 震災とそれに伴う原発事故でバラバラになった地域コミュニティが徐々に再生してきている感じがしました。



仲間を増やそう 女性会



JAしおのや氏家地区女性会

ないとう きょうこ
会長 内藤 京子 (櫻野)

JAしおのや女性会では米の消費拡大につなげよう地産地消、食育、料理教室、研修旅行、味噌作り、趣味の会では絵手紙、ヨガ教室などで仲間の輪を広げています。

現在高齢化が進む中、若いママさん達が「フレッシュミズ」を立上げ頑張っています。

年会費千円の組織です。非農家の方でも会員になれますので是非女性会、フレミズ会に入会し私達と一緒に活動してみませんか。

市議会の皆様には、米の消費拡大、地産地消、食育活動を通して、さくら市の農業を全国にアピールし氏家地区、喜連川地区、さくら市が一体となり展開できればと考えています。活性化は会員増につながります。

さくら市の農業に今以上にご協力をお願いします。



活動の様子

《表紙写真》

JALしおのや女性会

対象：JA正組合員と家族・準組合員

内容：女性会活動

お問い合わせ：女性会事務局

☎028-681-7557

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体さんを募集しています。ご興味がある方は右記さくら市議会事務局までお問い合わせください。

議会広報委員会



石岡 祐二

永井 孝叔

笹沼 昭司

若見 孝信

加藤 誠一

小堀 勇人

副委員長
大河原 千晶

委員長
加藤 明子

落合 千枝子

お知らせ

次回 3月定例会予定

2月21日(水)~3月15日(金)

一般質問 2月22日・26日・27日

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。

この度の能登半島地震で被災された方々へ、心よりお見舞いを申し上げます。さくら市議会も市と連携して復興支援に取り組んでいます。(詳細は8、9頁)